

前橋市立図書館だより

しきしま 本本本

LIBRARY LIFE

読書の答えは一つじゃない。

本と向き合う時間はあなただけの時間です。同じ本であっても、そこから何か感じて何を学びとるかもあなた次第なのです。読書を通じた学びの良いところはそこにあります。時間をかけて本と向き合っ得たことは、生きる上で支えとなります。競争に勝つためだけの学びだけはない学びが本の中にはあります。図書館は多様性に富んだ社会の学びの場。前橋市立図書館は、「森と空と水の移動図書館」として街へ飛び出します。

令和元年
9
2019

INTERVIEW

静かな図書館は心が落ち着きますね

前橋清陵高校 富所 凜さん

静かな環境が好き
私には、書架整理も本の修理も図書館で過ごす時間はとても心地よいもので楽しめました。



図書館サマー・フレンズが活躍

市内中高生 18 人が参加
夏休みにボランティア




図書館を愛する中高生が集まり、7月29日から8月2日までの5日間にわたり楽しく活動を行いました。書架整理や本の修理などの基本的な図書館業務の手伝いのほか、レファレンスブックやオンラインデータベースの使い方を学びました。18人全員が所定の過程を修了し、活動修了証を受け取りました。

アラマタヒロシの
妖怪にされちゃったモノ事典

荒俣 宏 著 秀和システム

博物学者、小説家、そして妖怪研究家として知られる荒俣宏が、妖怪研究の集大成として、最新の解釈と、世界各国の妖怪のルーツを語り尽くす。妖怪マニアなら絶対に読んでおくべき一冊。


新刊案内



この数学、いったい
いつ使うことになるの？

ハル サンダース 著 共立出版

各専門分野、生活空間に数学があふれていることを実感し、その有用性や重要性、価値を発見するのに最適。「数学なんて、買い物さえできれば要らない!!」などという世評を吹き飛ばす書。



休館日	祝日の場合は開館し翌日休館
本館、上川淵・下川淵・桂萱・元総社・総社 総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館	月曜
城南・東・芳賀・清里・宮城・粕川分館	木曜
前橋子ども図書館	第4水曜

出先の街で図書館に寄りました。入館するとおじいさんとお孫さんが楽しそうに1冊の絵本を読んでいた。改めて本の力を感じた瞬間でした。




館長
伊井直文の
つづやき

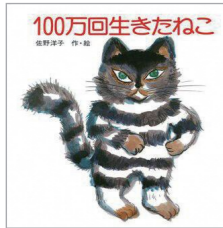
TOPIC 図書館運営ボランティア「図書館サポーター」を
随時募集中。詳しくは問い合わせてください。

編集よもやま話

記録だけにさせないために。8月15日、74回目の「終戦の日」を迎えました。戦争を体験された方も少なくなっていく中で、語り継いでいくことの必要性や重要性が声高に叫ばれています。どうか一人でも多くの方が声を上げて、あなたにしか語り継いでください。本や音声を残してください。体験された方が語り、記したのだから戦争を知らない者たちの心に響き、残るのがあります。あなたが目で見、耳で聞き、鼻でかき、肌で感じたものを、ただ「こんなことがあった」というような記録だけに残るものにさせないためにも。(狩野)



私のおすすめの一冊



前橋こども図書館
館長 羽鳥 純子

「100万回生きたねこ」

佐野 洋子 作・絵 講談社

100万回も死んで、100万回も生きたらねこ。飼い主はとらねこをかわいがり、ねこが死ぬとみんな泣きました。でもとらねこは死ぬのなんか平気です。あるとき、ねこははじめてのらねこになります。自分が大好きなとらねこは、一匹の白く美しいねこに会い…。誰も愛することがなかったねこが、やがて愛を知り自分の人生を生きる。子どもだけでなく大人にも読んでいただきたい絵本です。読むたびに新たな発見があり、時を重ね繰り返し読みたくなる絵本だと思います。子どもの頃に読んだ方も、ぜひもう一度手に取ってみてください。たくさんの素敵な絵本とこども図書館でお待ちしています。



前橋こども図書館 | maebashichildlibrary

前橋こども図書館



EVENT

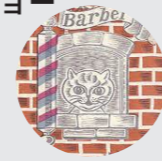
WEB SITE



絵本読み聞かせイベントなど詳しくは同館ウェブサイトをご覧ください。

公募展 猫町ファッションショー

こども図書館を「猫町」に見立てて猫町住人の絵を募集し展示します。



募集期日 = 9月20日(金)~10月18日(金)

展示期日 = 10月20日(日)~11月4日(月)

応募方法 = 専用紙に記入し同館応募箱へ

本の福袋 まるまるぶくろ ○○袋

袋に入れたまま本を貸し出し、自分では選ぶことのない本と出会える本の福袋「○○袋」を10月24日(木)から開催します。

① ○○袋に入れる本を選ぶ

テーマと対象年齢を設定し、同館所蔵の本からあなたが薦める3冊か5冊のセットを作成してください。9月26日(木)から10月17日(木)までに同館窓口で配布する用紙に必要事項、借りる人へのメッセージカードを記入し本と一緒に同館窓口へお持ちください。

② オーダーメイド○○袋の注文

子どもの好みや年齢に合わせて図書館スタッフが選んだ本を5冊セットで貸し出します。対象 = 15歳以下の子を持つ保護者、先着10人
申し込み = 9月26日(木)~10月10日(木)に同館窓口で調査カードに記入

読み聞かせボランティア養成講座 実践編

プログラムの組み立て方を学び、おはなし会の実演を行います。

日時 = ① 10月29日(火) 午前10時~正午

② 10月30日(水) 午前11時~正午、午後1時~2時(両日程への参加が必要)

対象 = 読み聞かせボランティア経験者か同館開催の初級養成講座受講者、先着10人

申し込み = 9月27日(金)からこども図書館(☎027-230-8833)へ



おしゃべりリプロ 本と私のテーマ曲

EVENT



日時 = 9月15日(日) 午後1時30分~3時

会場 = 市立図書館本館3階視聴覚室

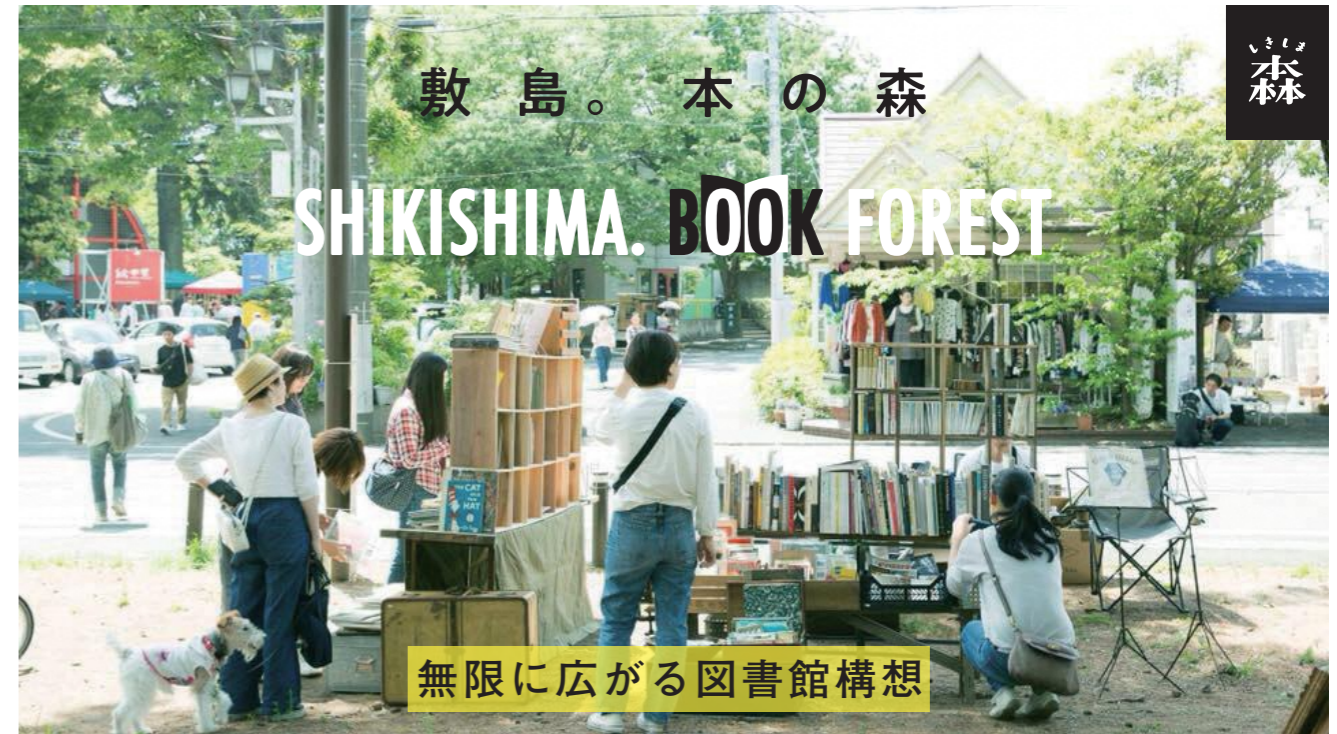
対象 = 本の紹介者、先着10人

ギャラリー(観覧者)、先着20人

テーマに沿って本を紹介し、参加者同士で語り合うおしゃべりリプロを開催します。今回のテーマは「本と私のテーマ曲」です。本の紹介者と観覧者(ギャラリー)を募集します。なお、本の紹介者は紹介したい本を一冊と、その本から思い浮かぶ曲をCDかスマートフォンで持参してください。紹介時間は5分程度です。申し込み = 同館(☎027-224-4311)へ

敷島。本の森

SHIKISHIMA. BOOK FOREST



無限に広がる図書館構想

FOCUS

2013年から始まった本を再生するプロジェクト「敷島。本の森」。2019年、本との出会いを広げるため図書館は街へ飛び出します。

街が、街そのものが図書館のように

捨てられていく本、売られていく本、忘れられていく本。本をなくしていくということは、その本を読んでいた時間を一緒になくしていくこと。本に大切な自分の一部を少しずつなくしていくということ。「Book of SURVIVAL」無限にひろがる図書館構想「敷島。本の森」は、本とともになくなってしまうような大切な時間を救うプロジェクトです。これは平成25年にNPO法人前橋芸術週間と市立図書館の協働で開始。除籍本など処分されてしまうはずの本を郵便局や美容院などに設置した本箱に並べ、新しい持ち主へとつないでいきます。この本箱から本を持ち帰るのに登録は必要ありません。自分のいらなくなった本と交換すれば、本箱から自由に好きな本を持ち帰ることができます。こうして本は再生され、もう一度旅をします。そして、街が、街そのものが図書館のように本でいっぱいになっていくのです。

森と空と水の移動図書館が街へ

本との出会いをさらに街中に広げるため、市立図書館は「森と空と水の移動図書館」として街へ繰り出すことにしました。まずは同プロジェクトが開催している「敷島。本の森」

ブックマルシェに出張開館。敷島公園の森の中で、テーマに沿った本の貸し出しと閲覧を行います。移動図書館で本を借りるには、必ず図書館利用カードを持参してください。このマルシェには全国各地から本屋が集い、詩集に絵本に旅の本がそろいます。森の中に座る所を見つけて、本と会いましょう。これからも街中の本を必要としている場所へ、図書館が巡ります。

●敷島。本の森..九月

ブックマルシェ・コーヒー・マルシェ

日時 = 9月28日(土)・29日(日)、

午前11時~午後4時

会場 = 敷島公園松林(敷島町)



敷島の本箱から
本が街へ還ります

敷島公園管理事務所や郵便局、病院に設置した本箱。図書館の除籍本を補充しながら、本は旅を続けます。